

希・露・西・仏・独・英・対照文法の試み
— 『新約聖書』ピレモンへの手紙を手がかりとして—

須川 宏之

0-0 はじめに

この「ピレモンへの手紙」を初めて読んだときのことは、昨日のこのように脳裏に浮かんできます。まだ高校生で人生の何たるかを捜し求めて彷徨していた折にこの文書に出会ったのです。東京の清瀬市の教会でした。無論、はじめて読んだ時にはなにが書かれているのか全く理解できませんでした。それは「自分を裏切って、自分の許を去った人間を再び友としてパートナーとして快く受け入れることができるかどうか……」いつにかかって人間の生き方や、他者とのかかわりなど、若い精神をここから揺さぶるものであったように記憶しています。

この手紙を書いたのはローマで殉教したとされる初期キリスト教のもっとも重要な理論家パウロその人です。この手紙は『新約聖書』に記載されている一番短い書簡であり唯一私的なものであり、これ以外はすべて公的な書簡（本当にパウロの手によるものか疑わしいものもあるようですが）です。

ピレモンは自分の家でキリスト教の集会を催す事のできるような富裕な人物であり、オネジモはその逃亡奴隷で、逃亡先でパウロに出会いそのパウロはピレモンの許へオネジモを帰そうと考えたのです。当時の奴隷制度のことを考えると奴隷はいわば「ものを言う道具」です、それが主人に損害を与えて逃亡中だったのです。¹

もう一つ脳裏に浮かんだことはこの手紙が書かれた言語とその翻訳のことにあったのです。翻訳された文章は訳者の創造と言えましょう。言うまでもなく訳者は翻訳の対象となる言語と翻訳する言語の両言語に通じていなければならないのは無論、その言語が使用される文化的土壌や社会的背景についても熟知していなければならないでしょう。その言語を理解することはその言語の背景にある様々な事柄についても熟知している必要があると考えたのでした。

このような問題意識から絶えずこの手紙のことは頭から離れることはなかったのです。今回何とか一つのものにもとめてみようという思いが募って生半可な知識を省みずに思い切って書いてみることにしました。

門外漢の自分に多様なご批判が寄せられることを覚悟してここに筆を置きます。

1, 岩隈 直訳注『希和対訳つき新約聖書』⑧（岩隈 直訳注，東京・山本書店,1973）pp.76～77 およびオリエンシス宗教研究所『聖書入門[Ⅱ]』（東京，オリエンシス宗教研究所，2006）参照。余談になりますが，岩隈先生は学校警備の仕事で糧秣を稼ぎながら聖書研究に没頭したと聞きます。自己の人生を振り返るとき何か自分が惰眠を貪っていたようで頭が下がる思いです。

0-1 この手紙の表題

0-1-1, ΠΡΟΣ ΦΙΛΗΜΟΝΑ². 0-1-2, ПОСЛАНИЕ К ФИЛИМОНУ. 0-1-3, LA EPISTOLA DEL APOSTOL SAN PABLO A FILEMON. 0-1-4, Lettre à Philémon. 1-1-5, DER BRIEF APOSTELS PAULUS A PHILEMON.

0-1-6, PHILEMON. 0-1-6-2, To Philemon 0-1-7, ピレモンへ³の手紙 (あるいはフィレモンへの手紙)

0-2 出典について

0-2-1, ギリシア語は通称ネストル版, NOVUM TESTAMENTUM GRACE (Nestle-Aland, Deutsche Bibelgesellschaft, 1893) を使用した。

また通称インターリニア版, THE INTERLINEAR NIV (Zondervan Publishing House, 1976) を参照し, 断りのない限り日本語訳はこのテキストのギリシア語から直接翻訳したものである。岩隈 直訳注『希和对訳つき新約聖書』(岩隈 直訳注, 東京・山本書店, 1973) も参照した。

0-2-2, ロシア語版については, БИБЛИЯ (Russian Bible, United Bible Societies, 1994) を使用した。その他, English-Russian parallel Bible (Russian Bible Society, 2004) と復刻版であるが, БИБЛИЯ (Издание Московской Патриархии, Москва 1976) を参照した。

0-2-3, スペイン語版は La Santa Biblia (Sociedad Biblica Americana, Nueva York 1960) を使用した。

0-2-4, フランス語版は La Sainte Bible (Alliance Biblique Universelle 1997)

0-2-5, ドイツ語版は Gute Nachtrichit Bible (Deutsche Bibelgesellschaft 2000)

0-2-6, 英語版については通称, 『欽定約聖書』 (The Holy Bible, King James Version, Ivy Books 1991)

0-2-7, 日本語版については『和英対照聖書』(日本聖書協会, 1999), 『聖書』(バルバローデル・コル訳, 東京・ドン・ボスコ社 1964) を参照した⁴。

以下断りのない限り順次, ギリシア語, ロシア語, スペイン語, フランス語, ドイツ語, 英語, 最後に日本語訳⁵を記載しながら文法の相違について考えていきたい。

無論, 全てについて比較することは不可能なので本稿では「動詞」を中心にして考察を進めたい, ロシア語では「体 (ВИД)」他の言語では「時制 (Tense) とアスペクト (Aspect)」を主眼にして体と時制と相と複雑な絡み合いが解明できれば本稿の目的は達成されたことになります。

-
- 2, 本来ギリシア語には細かい氣息記号とアクセント記号が記されなければならないが本稿ではギリシア文字による表記のみにした, 古典ギリシア語や新約聖書学などのご専門の方からお叱りを受けそうだが, 本稿の目的をご理解いただくとともにご寛容願いたい。
 - 3, 固有名詞などの日本語表記はギリシア語の発音を正確に記するのではなく日本語に膾炙したものをもちいた。
 - 4, この他にも『リビングバイブル』(東京, いのちのことば社) やその原型となる *The Living Bible* なども手の届く限り参照した。
 - 5, 大きく言えばこれらの言語のうちで日本語が「膠着語」で他の言語は「屈折語」であるといえよう。各『聖書』の行数番号にしたがって順次, 希・露・西・仏・独・英・日文の順序で記してある。

挨拶⁶

- 1-1-1, Παυλος δεσμιος Χριστου Ίησον και Τιμοθεος ο αδελφος Φιληνι τω αγαπητω και συνεργω ημων
 1-1-2, Павел, узник Иисуса Христа, и Тимофей брат, Филимону любленному и сотрудник нашему,
 1-1-3, Pablo, prisionero de Jesucristo, y el hermano Timoteo, al amado Filemon, colabrador nuestro,
 1-1-4, De la part de Paul, mis en prison pour avoir servi Jesus-Christ, et la part de notre frere Timothee. A toi, Philemon, notre cher ami et compagnon de travail,
 1-1-5, Paulus, der für Jesus Christus im Gefängnis ist, und der Bruder Timotheus schreiben diesen Brief. Er richtet sich an Philemon, der von Gott und uns geliebt und unser Mitarbeiter ist,
 1-1-6, Paul, a prisoner of Jesus Christ, and Timothy our brother, unto Philemon our dearly beloved, and fellowlabourer,
 1-1-7, イエス・キリストのために捕われの身となっているパウロと私たちの兄弟ティモテ、私たちのいとしいパートナー、ピレモンと、
 1-1-8, αγαπητω (希) ---любленному (露) ---amado (西) ---cher (仏) ---geliebt (独)--- beloved (英) --
 -いとしい, 最愛の(日), 動詞から派生した分詞。

時制とは現実の「時間」(過去・現在・未来)を表し,それがアスペクトと複雑に絡み合って,話者あるいは書き手の表したい状態を示すことが可能になります。それにロシア語の体(ВИД)が入り混じってきます。それは話者や書き手の主観が表現上反映される現象を示し:

I 不完了体, 1, 定動詞(Я иду, 私は行きます) 2, 不定動詞(Я хожу, 私は通っています) 3, 持続的(Я делал, 私はしています)。

II 完了体, 基本的に非現在を示す, 動作の完了(Я сделал 私はやり終えました) 始動など多岐に渡ります⁷。その他ギリシア語にはアオリスト(Aorist)があり「『点的』過去表現を分担, 『完了』はAoristから出たものではなく……⁸」

- 1-2-1, και Αφια τη αδελφη και Αρχιππω τω σνσιρατιωτη ημων και τη και οικον σου εκκλησια,
 1-2-2, И Апфии, (сестре) возлюбленной и Архиппу, сподвижнику нашему, и домашней твоей церкви;
 1-2-3, y a la amada hermana Apia, y a Arquipo nuestro conpañero de milicia, y a la iglesia que esta en tu casa :
 1-2-4, et a l'Eglise qui se reunit dans ta maison, a notre seor Appia et a Archippe notre compagnon de combat:
 1-2-5, sowie an unsere Schwester Aphia, unseren Mitstreiter Archippus und die Gemeinde in Philemons Haus.

6, 小見出しは西語版によったが, 希・露・英語版にはなく, 仏語には異なったものが記されている。

7, 前島儀一朗『英独仏語・古典比較文法』(東京, 大学書林, 平成二年) pp.90-114 参照。

8, 前島儀一朗『前掲書』p.91 ならびにギリシア語文法に関しては高津春繁『ギリシア語文法』(東京, 岩波書店, 1960)を参照。

1-2-6, And to our beloved Apphia, and Achippus our fellowsoldier, and to the church in thy house:

1-2-7, 私たちの愛する姉妹アプフィアーと私たちの戦友アルッキポーとあなたの家の集会に,

1-3-1, Χαρις υμιν και ειρηνη απο Θεω Πατροσ ημων Κυριου Ιησου Χριστου.

1-3-2, Благодать вам и мир от Бога Отца нашего и Господа Иисуса Христа.

1-3-3, Gracia y paz a vosotoros, de Dios nuestro Padre y del Señor Jesucristo.

1-3-4, Que Dieu norte Père et le Seigneur Jésus-Christ vous accordent la grace et la paix.

1-3-5, Gnade und Frieden sei mit euch von Gott, unserem Vater, und Jesus Christus, dem Herrn.

1-3-6, Grace to you, and peace, from God our Father and the Lord Jesus Christ.

1-3-7, 私たちの父である神と主イエス・キリストからみなさんに恩恵と平安がありますように!

ピレモンの愛と運命

2-1-1, Ευχαριστω τω θεω μον παντοτε μνειαν σου ποιουμενος επι των προσευχων μον,

2-1-2, Благодарю Бога моего, всегда вспоминая о тебе в молитвах моих,

2-1-3, Doy gracias a mi Dios, haciendo siempre memoria de ti en mis oraciones,

2-1-4, Toutes les fois que je prie, je pense à toi, Philemon, et je remerce mon Dieu;

2-1-5, Ich danke meinem Gott immer, Philemon, wenn ich meinen Gebeten an ich denke.

2-1-6, I thank my Got, making mention of thee always in my prayers,

2-1-7, 私はいつもお祈りするときにあなたのことを口にすると私の神に感謝しています。

2-1-8, Ευχαριστω (希, 一人称単数現在) ---Благодарю (露, Благодарить, 不完了体動詞, 一人称単数現在) ---Doy gracias (西) --- je remerce (仏) --- Ich danke (独) ---I thank (英) ---私は感謝いたします--- (日)

2-2-1, ακουων σου των αγαλην και την πιστιν ην εχεισ προς τον ρυπον Ιησουν και εις παιντασ τουσ αγιουσ,

2-2-2, Слыша о твоей любви и вере, которую имеешь к Господу Иисусу и ко всем святым,

2-2-3, porque oigo del amor y de la fe que tienes hacia en Señor Jesus, y para con todos los santos;

2-2-4, car j'entends parler de ton amour pour tous les croyants et foi au Seigneur Jesus.

2-2-5, Denn ich höre von deiner Liebe und deinem Glauben: dem Glauben an Jsus, den Herrn, und der Liebe, die du allen Christen erweist.

2-2-6, Hearing of thy love and faith, which thou hast toward the Lord Jesus, and toward all saints;

2-2-7, というのも, 主イエスとすべての聖徒に対するあなたの愛と信仰について聞いているからです。

2-2-8, ακουων (希, ακουω の現在分詞) ---Слыша (露, слышать の副動詞⁹) --- oigo (西) ---j'entends (仏) --- ich höre (独) ---Hearing (英) ---聞いています (日)

2-3-1, οπως η κοινωνια της πιστεως σου ενεργησ γενηται εν επιγνωσει παντος αγαθου του εν ημιν εις Χριστον.

2-3-2, Дабы общенте веры твоей оказалось деятельным в познании всякого у вас добра во Христе Иисусе.

2-3-3, para que la participacion de tu fe sea eficaz en el conocimiento de todo el bien que esta en vosotros por Christ Jesus.

2-3-4, Je demande à Dieu que la foi que tu as en commun avec nous soit efficace en toi pour faire mieux connaitre tous les biens que nous avons dans notre vie avec le Christ.

2-3-5, Und meine Bitte an Gott ist:Der Graube, an dem du Anteil hast, möge sich bei die dahin auswirken, dass du all das Gute erkennst, dasa unter uns im Blick auf Christus und seiner Ehre yu tun ist.

2-3-6, That the communication of thy faith may become effectual by the acknowledging of every good thing which is in you in Christ Jesus.

2-3-7, 私たちがキリスト・イエスにもっているあらゆる善を完全に理解するためにあなた自身の信仰が活発になるように私は祈ります。

1-3-8, γενηται (希, γενηται 接続法現在) ---оказалось (露, оказать 不完了体動詞過去) ---sea (西, 動詞 ser の接続法現在¹⁰) ---möge (独) --- may become (英) ---～になるように (日)

2-4-1, Χαραν γαρ παλλην εσχον και παρακλησιν επι τη αγαπη σου,οτι τα σπλαγχνα των αγιων αναλεπυται δια σου αδελφε.

2-4-2, Иба мы имеем великую радость и утешение в любви твоей, потому что тобою брат, успокоены сердца святых.

2-4-3, Pues tenemos gran gozo y consolacion en tu amor, porque por ti, oh hermano, han sido confortados los corazones de los santos.

2-4-4, Ton amour frere, m'a donné beaucoup de joie et d'encouragement, car tu as rencontré le coeur des croyants.

9, ロシア語文法に関しては『新ロシア語文典』(プーリキナ・ネクラソバ共著, 稲垣研一・初瀬和彦共訳, 東京, 吾妻書房, 1968)を参照した。

10, スペイン語文法に関しては山田善郎監修『中級スペイン文法』(山田善郎監修, 東京, 白水社 1995), スペイン語の接続法は別名「～ように」話法とも呼ばれる。

2-4-5, Es war mir wirklich eine große Freude und hat mir Mut gemacht, von der Liebe zu hören, die du den Brüdern und Schwestern erweist. Du hast ihren Herzen wohl getan, lieber Bruder!

2-4-6, For we have great joy and consolation in thy love, because the bowels of the saints are refreshed by thee brother.

2-4-7, あなたの愛は私の大きな喜びと慰めを与えています, なぜならあなたのような兄弟は聖徒の心を元気づけるからです。

1-4-8, εσχον (希) --- имеем (露) --- tenemos (西) ---m`a (仏) ---hat (独) --- have (英) ¹¹---大きな喜びと慰めを与えています (日) の動詞部分

パウロのオネシモの執り成し

3-1-1, Διο, πολλην εν Χριστω παρρησιαν εχων επιτασσειν σοι το ανηκον,

3-1-2, Посему, имя влесикое во Христе дерзновение приказывать тебе, что должно,

3-1-3, Por lo cual, aunque tengo mucha lobertad en Cristo para mandarte lo que conviene,

3-1-4, Ainsi, bien que dans la communion avec le Christ j`aie toute liberté de t`ordonner ce que tu dois faire,

3-1-5, Deshalb möchite ich auch nichit von meiner Vollmacht Gebrauch machen. Ich könnte dir ja unter Berufung auf Christus einfach befehlen, was du zu tun hast¹²;

3-1-6, Wherefore though I might be much bold in Christ to enjoin thee that which is convenient,

3-1-7, したがって, 私がキリストのうちに持っておりそしてあなたがなすべきことをあなたに命じることもできるのですが,

3-2-1, δια την αγαπην μαλλον παρακαλω τοιουτοσ ων ωσ Παυλοσ πρεσβυτησ, νυνι δε και Χριστου `Ιησου,

3-2-2, По любви лучше прошу, не иной кто, как я, Павел старец, ф теперь и узник Иисуса Христа,

3-2-3, mas bien te ruego por amor, siendo como soy, Pablo ya anciano, y ahora, ademas, prisionero de Jesucristo;

3-2-4, je prefere t`adresser une demande au nom de l`amour. Tel que je suis, mor Paul, un vieillard, et de plus maintenat garde en prison a cause de Jesus-Christ¹³,

3-2-5, aber um der Liebe Raum zu geben, bitte ich dich nur. Ich Paulus als ein Mann von Alter und Autorität, dazu auch noch ein Gefanger für Jesus Christus,

3-2-6, Yet for love's sake I rather beseech thee, being such an one as Paul the aged and now also a prisoner of

11, 英語の文法に関しては江川泰一郎『英文法概説』(江川泰一郎, 東京, 金子書房, 昭和39年)を参照

12, ドイツ語文法に関しては牧野紀之『関口ドイツ語学の研究』(牧野紀之, 東京, 鶏鳴出版, 1987)を参照。

13, フランス語文法に関しては林田遼右他『フランス語十二月月』(林田遼右他, 東京, 大学書林, 昭和45年)参照。

Jesus Christ.

3-2-7, しかし, 私は愛に基づいて訴えたい, 私, パウロは老人です, おまけにイエス・キリストの囚われの身です,

3-3-1, Παρακαλω σε πει του εμου τεκνευ, ον εγεννησα εν τοις δεσμοις, `Ονησιμον,

3-3-2, Прошу тебя о сыне моем Онисиме, которого родил я в узах моих;

3-3-3, te ruego por mi hijo Onesimo, a quien engengre en mis prisiones,

3-3-4, je te demande une faveur pour Onesime. Il est devenu mon fils en Jésus-Christ ici, en prison.

3-3-5, ich bitte dich für meinen Sohn, den ich hier im Gefängnis geyeuget, das heißt yum Glauben geführt habe: für Onesimus !

3-3-6, I beseech thee for my son Onesimus, whom I have begotten in my bonds:

3-3-7, 私は囚われの中で私の息子となったオネシモのために懇願いたします。

3-4-1, τον ποτε σοι αχρηστον νυνι δε και εμοι ευχρηστον,

3-4-2, И как одежду свернешь их, и изменятся; но Ты тот же, и лета Твои не кончатся.

3-4-3, el cual en otro tiempo te fue inutil, pero ahora a ti y a mi nos es util,

3-4-4, Autrefois, il t'a été inutile, mais maintenant il nous est utile à toi et à.

3-4-5, Früher hattest kann er dir und mir von Nutzen sein.

3-3-6, Which in time past was to thee unprofitable, but now profitable to thee and to me.

3-3-7, かつてはあなたにとって役立たずの者であったが, 今はあなたととも私にととも役に立つ者である,

3-4-1, ον ανεπεμψα σοι, αυτον τουτ εστιν τα εμα σλαγγνα.

3-4-2, Кому когда из Фнгелов сказал Бог; суди одесную Меня, доколе положу врагов Твоих в подножие ног Твоих?

3-4-3, el cual vuelvo a enviente; tu, pues, recibele como a mi mismo.

3-4-4, Je te renvoie, maintenant, lui qui est comme une partie de moi-meme.

3-4-5, Ich schicke ihn hiermit zu dir zurück-was sage ich :ich schike dir mein eignes Herz!

3-5-6, Whom I have sent again: thou therefore receive him, that is, mine own bowels:

3-5-7, 私の心である彼を私はあなたに送り返します。

3-6-1, ον εγω εβουλομην πορος εωαυτον κτεχειν, ινα υπερ σου μοι διακονη εν τοις λεσμοις του εθαγγιου,

3-6-2, Я хотел при себе удержать его, дабы он вместе тебя послужил мне в узах за благовестование;

3-6-3, Yo quisiera retenerle conmigo, para que en lugar tuyo me sirviese en mis prisiones por el evangelio;

3-6-4, J'aurais bien aime le garder aupres de moi pendant que je en prison pour la Bonne Nouvelle, afin qu'il me rende service a ta place.

3-6-5, Ich hätte ihm gerne bei mir behalten, damit er mir an deiner Stelle Dienste leistet, jetzt, da ich für die Gute Nachricht im Gefängnis site.

3-6-6, Whom I would have retained with me that thy stead he might have ministered unto me in the bonds of the gospel:

3-6-7, 福音のつながりの中であなたに代わって私を助けてもらおうと思って私は彼を手元においたのです。

3-7-1, Χωπις δε της σης γνωμησ οθδεν ηθεγησα ποιησαι, ινα ωσ κατα αναγκην το αγαθον σοθ η αλλα κατα εκοθψιον.

3-7-2, Но без твоего согласия ничего не хотел сделать, чтобл доброе дело твое было не вынужденно, а добровольно.

3-7-3, pero nada quise hacer sin tu consentimiento, para que tu favor no fuse como de necesidad, sino voluntario.

3-7-4, Mais je n'ai rien voulu faire sans ton accord, afin que tu ne fasses pas le bien par obligation, mais de bon coeur.

3-7-5, Aber ohne deine Zustimmung wollte ich nichts entscheiden. Du sollst die gute Tat ja nicht unter Zwang, sondern aus freien Willen tun.

3-7-6, But without thy mind would I do nothing; that thy benefit should not be as it were of necessity, but willingly.

3-7-7, しかしあなたの同意を得ずに何もする気はありませんでした。それというのもあなたが自発的に善を行い強制的になされるものではないからです。

3-8-1, ταχα γαρ δια τουτο εχωρισθη προσ ωραν, ινα αιωνιον αυτον απεχησ,

3-8-2, Ибо, может быть, он для того на время отлучился, чтобы тебе принять его навсегда,

3-8-3, Porque quizas para esto se aparto de ti por algun tiempo, para que le recibieses para siempre,

3-8-4, Peut-etre Onesime a-t-il ete separe de toi pour quelque temps afin que tu le retrouves pour toujours.

3-8-5, Vielleicht ist er ja deshalb eine Zeit lang von dir getrennt worden, damit du ihn nun für alle Zeiten Zurückhast,

3-8-6, For perhaps he therefore departed for a season, that thou shouldest receive him for ever,

3-8-7, おそらくしばらくの間, 彼があなたから離れたのは良いことのため彼がもどってくる,

3-9-1, ουκει ωσ δουλον αλλα υπερ δουλον, αδελφον αγαπητον, μαλιστα εμοι,ποσω δε μαλλον σοι και εν σαρκι και εν κυπιω.

3-9-2, Не как уже раба, но выше раба, брата возлюбленного, особенно мне, а тем больше тебе, и по плоти и в Господе.

3-9-3, no ya como esclavo, sino como mas que esclavo, como hermano cuanto mas para ti, tanto en la carne como en el Señor.

3-9-4, Car maintenant il n'est plus un simple esclave, mais il est beaucoup mieux qu'un esclave: un frere tres cher. Il doit Il m'est particulièrement cher, mais toi, aussi bien dans sa condition humaine que comme frere chretien.

3-9-5, und das nicht als Sklaven, sondern als viel mehr: als geliebten Bruder. Das ist er jedenfalls für mich in höchstem Maße; aber wie viel mehr muss er es dann für dich sein, im täglichen Leben und in der Gemeinde des Herrn!

3-9-6, Not now as a servant, but above a servant, a brother beloved, specially to me but how much unto thee, both in the flesh, and in Lord?

3-9-7, もはや奴隷としてではなく, いや, 奴隷以上に愛する兄弟として, 私に親愛なもの, あなたにはより親愛で主の兄弟のように。

3-10-1, ει ουν με εχεισ κοινωνον, προσλαβου αυτον ωσ εμε.

3-10-2, Итак, если ты имеешь общение со мною, то прими его, как меня.

3-10-3, Asi que, si me tienes por compañero, reciebele como a mi mismo.

3-10-4, Si donc tu me consideres comme ton ami, recois-le comme si c'était moi-même.

3-10-5, es stimmt, dass wir beide für Christus arbeiten und ich also gewissermaßen dein Geschäftspartner bin, dann nimm ihn auf, als ob ich es selber wäre.

3-10-6, If thou count me therefore a partner, receive him as myself.

3-10-7, したがって, あなたが私をパートナーとみなしてくれるなら私と同じように彼を受け入れてもらいたいと思います。

3-11-1, ει δε τι ηδικησεν σε η οφειλει, τουτο εμοι ελλογα,

3-11-2, Если же он чем обидел тебя, или должен, считай это на мне.

3-11-3, Y si en algo te daño, o te debe, ponlo a mi cuenta.

3-11-4, S'il t'a cause du tort, ou s'il te doit quelque chose, mets cela sur mon compte.

3-11-5, Wenn er dich geschädigt hat oder dir etwas schuldet, rechne es mir an.

3-11-6, If he hath wronged thee, or oweth thee ought, put that on mine account.

3-11-7, もしも彼があなたに何か悪いことをしたか、負債があるならば私につけておいてください。

3-12-1, εγω Παυλος εγραψα τη εμη χειρι, εγω αποτισω ινα μη λεγω σοι οτι και σεαυτον μοι προσοφειγεις.

3-12-2, Я Павел написал моею рукою: я заплачу; не самим собою мне должен.

3-12-3, Yo Pablo lo escribo de mi mano, yo lo pagare; por no decirte que aun tu mismo te me debes tambien.

3-12-4, C'est de ma propre main que j'écris ces mots: Moi, Paul, je te le rembourserai.-Je n'ai certes pas a te rappeler que toi tu me dois ta propre vie.

3-12-5, Ich Paulus, schreibe hier mit eigener Hand: Ich werde es dir erstatten. Ich könnte auch sagen; Rechne es dir an; denn du bist mir ja schließlich dich selber schuldig!

3-12-6, I Poul have witten it with mine own hand, I will repay it; albeit I do not say to thee how thou owest unto me even thine own self besides.

3-12-7, 私、パウロが自分の手でこの手紙を書きました、私が返済しましょう、あなた自身が私に負っていることには触れないでおきましょう。

3-13-1, ναι, αδελφε, εγω σου οναιμην εν ρυριω αναπαυσον μου τα σπλαγχνα εν Χριστω.

3-13-2, Так, брат, дай мне воспользоваться от тебя в Господе; успокой мое сердце в Господе.

3-13-3, Si, hermano, tenga yo algun provecho de ti en el Señor; conforta mi corazon en el Señor.

3-13-4, Oui, frere, je t'en prie, accorde-moi cette faveur por l'amour du Seigneur: reconforte mon coer au nom de notre communion avec le Christ.

3-13-5, Ja, lieber Bruder, ich möchte gerne, dass du mir eine Freude machst, so gewiss wir durch den Herrn verbunden sind! Tu meinen Heryen wohl duruch die Liebe, die von Christus kommt!

3-13-6, Yea, brother, let me have joy of thee in the Lord: refresh my bowels in the Lord.

3-13-7, そうだ、兄弟よ、私があなたに主の助けがありますように、キリストにおいて私の心が安らかにになりますように。

3-14-1, Πεποιθωσ τη υπακοη σου εγραψα σοι, ειδωσ οτι και υπερ α γελω ποιησεις.

3-14-2, Надеясь на послушание твое, я написал к тебе, зная, что ты сделаешь и более нежели говорю.

3-14-3, Te he escrito confiando en tu obediencia, sabiendo que haras aun mas de lo que te digo.

3-14-4, Je suis convaincu au moment ou je t'ecris, que tu feras ce que je te demande-je sais meme que feras plus encore-

3-14-5, Ich schreibe dir im Vertrautzen daraf, dass du dich mir nicht widersetzen wirst. Ich bin sicher , du wirst sogar noch meher tun, als ich erbitte.

3-14-6, Having confidence in thy obedience I wrote unto thee, knowing that thou wilt also do more than I say.

3-14-7, 私はあなたが従順であることを確信してあなたにこの手紙を書き、私が言ったこと以上のことをしてくれることを承知しています。

3-8-8, εγραψα (希, γραφω 書く, 描くの第一アオリスト一人称単数) --- написал (露, написать, 書く, 完了体動詞の過去) --- he escrito (西, 現在完了形) --- je t'ecris (仏, 現在完了) --- schreibe (独, 直説法現在) --- I wrote (英, 直接法過去) --- 私は手紙を書きました (日)。

ここでアオリストとは「アオリストはある出来事が何らかの付帯的条件（継続や完了の有無）なしに単におこった事を示す。従ってアオリストでは動作や状態がそのまま全体的に眺められている事となる。これは日本語で言えば単に『来る』, 『する』の如くに、動詞の意味そのものだけを表すと考えてよい。¹⁴」以下アオリストと相対的時間の関係として「a.アオリストは不完了と同じく、従属的（特に時間、理由を表すもの、関係節）に於いて、主文の時より相対的に以前の時を表すことが多い……」「B.書翰体アオリスト (epistolarly aorist), 手紙や伝言に於いては、発信者が受信の時を予想して、アオリストで者を言うことがある。この場合は完了的に用いられ不完了は稀であり、その他「現在完了的アオリスト¹⁵」「未来的アオリスト」¹⁶等、コンテキストの中での意味合いの違いが分類されています。

ここで、ロシア語版は動作の完了に注目しロシア語の完了体動詞を用いています。ロシア語の完了体動詞は動作の完了にその意味の主眼が置かれていて、「私は手紙を書き終えた」それはスペイン語もフランス語も同様に完了時制を取っていることから理解できます。ロシア語では完了体と不完了体の動詞のペアがって、他の言語がここで「助動詞+過去分詞」の形式をとるところ動詞一語で表していると言えます。ここではドイツ語直説法現在と英語は直説法過去を使っています。読み手のニュアンスの違いからでしょうか。ロシア語、スペイン語、フランス語に対してドイツ語、英語の翻訳に好対照がみられます。

3-15-1, αμα δε και ετοιμαξε μοι ξενιαν ελλιξω γαρ οτι δια των προσευχων υμων χαρισθησομαι υμιν.

3-15-2, А вместе приготовь для меня и помещение;ибо надеюсь,что по молитвам вашим я буду дарован

14, 高津春繁『前掲書』p.330

15, 高津春繁『前掲書』p.331

16, 高津春繁『前掲書』pp.330~338 参照。

вам.

3-15-3, Preparame tambien alojamiento; porque espero que por vuestras oraciones os sere concedido.

3-15-4, En meme temps, prepare-moi une chambre, car j'espere que, grace a vos prieres, je vous serai rendu.

3-15-5, Halte auch schon ein Quartier für mich bereit! Denn ich Gebete erhört und euch wiedergeschenkt werde.

3-15-6, But withal prepare me also a lodging: for I trust that through your prayers I shall be given unto you.

3-15-7, 同時に私のために部屋を一つ用意してください。なぜならみなさんのお祈りに応えて私がみなさんの許へ引き渡されるだろうからです。

挨拶と結びの祝福

4-1-1, Ασπάζεται σε Επαφρασ ο συναιχμαλώτοσ μου εν Χριστώ `Ιησού ,

4-1-2, Приветсвует тебя Епафрас, узник вместе со мною ради Христа Иисуса, Марк, Аристарх, Димаса, сотрудники мои.

4-1-3, Te saludan Epafras, mi compañero de prisiones por Cristo Jesus,

4-1-4, Eraphras, qui est en prison avec moi a cause de Jesus-Christ, t'adresse ses salutations,

4-1-5, Eraphras lässt dich grüßen, der hier mit mir für Jesus Christus im Gefängnis sitzt;

4-1-6, There salute thee Eraphras, my fellowprisoner in Christ Jesus;

4-1-7, イエス・キリストのために私と共に囚われの身であるエパフラスからみなさんによろしくとのことです。

4-2-1, Маркоσ, `Αρισταρχοσ, Δημασ, Λουκασ, οι συνεργοι μου.

4-2-2, Марк, Аристарх, Димаса, сотрудники мои.

4-2-3, Marcos, Aristarco, Demas y Lucas, mis colaboradores.

4-2-4, ansi que Marc, Aritraque, Demas et Luc, mes compagnons de travail.

4-2-5, ebenso grüßen meine Mitarbeiter Markus, Aritarch, Demas und Lukas.

4-2-6, Marcus, Aristarchus, Demas, Lucas, my fellowlabourers.

4-2-7, 私の協働者マルコス, アリスタルコス, デーマス, ルーカスにもよろしくお伝えください。

4-3-1, `Η χαρισ του κυριου `Ιησου Χριστου μετα του πνευματοσ υμων.

4-3-2, Благодать Господа нашего Иисуса Христа со духом вашим. Аминь¹⁷.

17, БИБЛИЯ (Russian Bible, United Bible Societies, 1994) も English-Russian parallel Bible (Russian Bible Society, 2004) もロシア語では全体が 24 行で終わっていたが, **БИБЛИЯ** (Издание Московской Патриархии, Москва 1976) では他の言語と同様に 25 行にしてあったのでこの版にしたがった。

4-3-3, La gracia de nuestro Señor Jesucristo sea con vuestro espíritu. Amen.

4-3-4, Que la grace du Seigneur Jesus Christ soit avec vous.

4-3-5, Die gnade unseres Herrn Jesus Christus sei mit euch !

4-3-6, The grace of our Lord Jesus Christ be with you your spirit. Amen.

4-3-7, 主・イエス・キリストのお恵みがみなさんの精神とともにありますように。

5-0 むすびにかえて,

当初の二つの目的はどれほど達成できたでしょうか。大変心もとない気がしてなりません。このおよそ 20 年あまり研鑽を怠ってきたことを後悔するとともに今後はますます研鑽に励みたいと考えています。この間、様々な『聖書』や聖書研究者によるものを読んできました。その生き方に感心させられるものが沢山ありました。そのたびに人生について考え直してきました。このことは自分自身が無機物化するまで続くことになるでしょう。

『聖書』の翻訳でいえば語学的な観点から印欧諸語は大体一対一対応ができると考えていましたが、ドイツ語やフランス語を見ているとギリシア語に比して若干長めだったりするときがありました。そんな折、田川 健三先生の「異質の世界の無視¹⁸」を読みました。読みやすく内容を解釈して翻訳してあるのだと思いますが、田川先生の主張は納得できました。特に『リビングバイブル』 (*The Living Bible*) を読んだりしているとそれを痛感しました。先生の『新約聖書・訳・注』の早期の出版を待ってじっくりと考えみたいと思っています。

18, 田川健三「異質の世界の無視」『宗教とは何か 上 宗教批判をめぐる』（田川健三、東京、洋泉社、2006）pp.110～